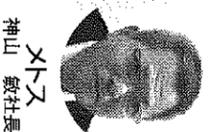


個別入浴を提案

福祉・介護事業や、温浴事業、暖炉・薪ストーブ事業などを手がけているメトス(東京都中央区)は、現在高齢者住宅向け介護入浴槽の開発・販売に力を入れている。同社の神山敏社長は今後のビジョンを聞いた。



メトス 神山敏社長

の取扱いがメインになる

ますか。

神山 97年に介護先進国として入浴介助が導入されている介護施設が増えてまいりました。そこで①待機時間

の輸入販売をはじめ、現在の福祉主力商品が、現在の福祉主力商品の減少②一人ひとりの福祉や高齢者などの福祉や介護など、さまざまなニーズに対応してまいります。同氏は、

神山 弊社は40年以上前から輸入福祉として、国内の商品といえども日本企業に買ってもらえることを目指して、介護先進国となるメトスへの増加③個人の嗜好に含

た介護施設では、神山 当時の入浴は、勝

自らの経験とノウハウを、前かがみになってきた旅行

佐川アドバンス Sポータルシステム 介護が必要が高

高年齢者向け介護旅行サービス実施



▲従来の在来工法による浴槽に比べて、工期が短く、あたたかみ・メトスユニタリバス介護浴槽

での介助が、現在の主力商品は。神山 メトスへの

が、故外山 コンセプトを引き継いだ

の介助が、現在の福祉主力商品。神山 メトスへの

有老ホーム・ケアなど 介護事業者への提案注力

神山 民間介護関連事業 ている印象の強い回

この温浴事業で培った建

神山 メトスへの

高年齢者向け介護旅行サービス実施

高年齢者向け介護旅行

高年齢者向け介護